



こぐまぐみだより

NO.11 2022 . 3.1

暖かな日差しになると共に、日も少しずつ長くなって来ました。子どもたちの元気な声に誘われたのか小さな花や虫が少しずつ顔を出すようになり春の訪れを感じます。今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返り、一人一人が自分のペースで大きく成長した事をととても嬉しく感じています。一日一日を大切にしながら子どもたちが元気よく楽しく過ごせるようにしていきたいと思ひます。



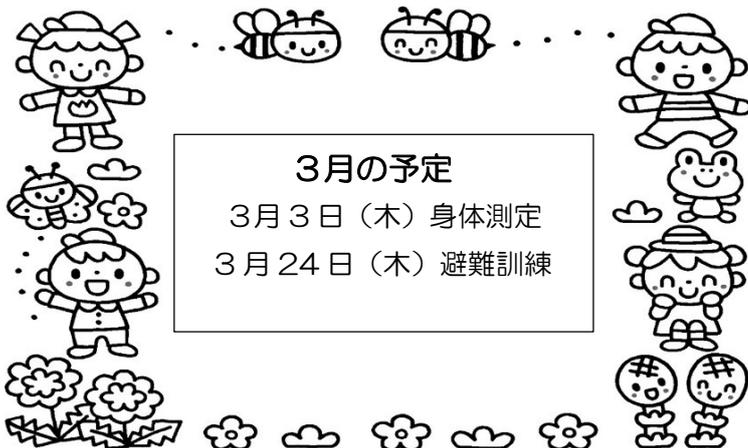
☆節分楽しかったね☆

節分の日、みんなで鬼の玉入れや紙芝居などを楽しみました。紙芝居を読んでいる時にはじっと保育者の話を聞き入って集中している姿がたくさんみられました。「鬼は外、福は内と豆をまくんだよ」と保育者に豆まきの事を教えてくれる子もいました。ホールに出て鬼の玉入れが始まると、みんなすぐにボールを持ち、「鬼は外」「福は内」と投げ始めました。たくさんのボールを抱えて投げたり、遠くから投げて入るかどうか挑戦したりして楽しみました。保育者が鬼になり「鬼だぞ〜！」とみんなを追いかけると「キャー！」と歓声を上げてホールを走り回って盛り上がる子どもたちでした。



☆楽器で遊ぼう☆

こぐま組の子どもたちは歌を歌ったり、手遊びをしたりする事が大好きです。音楽に合わせて体を動かして遊んでいます。実際に本物の楽器を使って遊びました。アフリカの太鼓ジャンベとタンバリンを子どもたちに見せると興味深々で楽器を見つめます。保育者が楽器の説明をすると、それぞれに楽器の音や鳴らし方を五感を使いながら感じ取っている姿がありました。みんなで楽器を鳴らしてみるとタンバリンやジャンベの音色を楽しむ子どもたち。保育者がリズムを刻むと、子どもたちも自然とリズムに合わせて演奏しました。みんなで音を合わせる楽しさを感じ取り楽しんでいました。今後も楽器を使って音楽を楽しんでいきたいと思ひます。



3月の予定
3月3日(木) 身体測定
3月24日(木) 避難訓練

3月のこぐまぐみ
春らしく暖かい日にはお散歩に出掛けていきたいと思ひます。春の日差しを浴び、体全体で春の訪れを感じたいと思ひます。